

平成28年度 事業別予算概要

事業名	41500	生活環境保全事業費	内線	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	市長公約	
	課				4	衛生費	分野		2	環境・景観				
担当課	環境政策部 生活環境課			2172	項	1	保健衛生費	H28実施計画額	基本施策	2	生活環境	4,000 千円	実施計画事業	生活環境保全事業
	目	5	生活環境費		施策	3	公害対策の強化		H28実施計画額	4,000 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・公害の発生防止と、公害が発生した場合は被害を最小限に食い止める。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と騒音の観測調査の実施。 ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と、騒音の定期観測調査の実施。 ・高山市快適環境づくり市民会議の運営を行う。 ・ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発を行う。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と騒音の観測調査の実施 ・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の啓発 ・マイマイガの生態を把握し、市民に周知するとともに、市有施設に付着した卵塊の駆除を実施 ・高山市快適環境づくり市民会議の開催(グリーンマーケット、クリーン作戦等の実施) 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	水質調査地点数	箇所	目標値	19	19	19	19
	実績(見込)		19	19	19	19	
算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	100	
活動指標	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発/トロールの実施	回	目標値	70	70	70	70
	実績(見込)		17	19	26	26	
算出根拠等		達成率(%)	24	27	37	37	
成果指標	カワゲラウォッチングの参加者数	人	目標値	60	60	60	60
	実績(見込)		60	91	109	109	
算出根拠等		達成率(%)	100	152	182	182	
成果指標	騒音、振動、悪臭苦情の解決件数	回	目標値	62	53		
	実績(見込)		58	49			
算出根拠等	解決件数/(相談件数+未解決件数)		94	92			
成果指標	グリーンマーケット参加者	人	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200
	実績(見込)		2,000	700	1,300	1,300	
算出根拠等		達成率(%)	91	32	59	59	
成果指標	クリーン作戦参加者	人	目標値	220	220	220	220
	実績(見込)		150	100	120	120	
算出根拠等		達成率(%)	68	45	55	55	
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公害苦情の件数は減少したものの、平成24年度に比べるとまだ多い状態。大気汚染(屋外焼却)や水質(油漏れや水泡の発生)に係る苦情件数が約7割を占めていることから、啓発活動を実施する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切な対応をとる。 ・大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 ・長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切な対応をとる。 ・大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 ・長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。
二次評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,782	3,712	3,990	8,472
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	84	41	44	93
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭水質、土壌中放射性物質、河川水質、騒音調査 ・高山市快適環境づくり市民会議の事務局運営 ・ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌中放射性物質、自動車騒音調査の実施 ・高山市快適環境づくり市民会議による環境関連イベントの実施 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公害等発生抑制の啓発
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	3,990	8,472	4,482	5,990	5,990	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	285	343	58	283	283		
	その他			0				
	一般財源	3,705	8,129	4,424	5,707	5,707		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
				款	4	衛生費		分野	2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	生活環境	H28実施計画額	303,000 千円		
			2960	目	2	塵芥処理費	施策	5	ごみの適正処理				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。 ・家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・ごみの出し方と分別の啓発 ・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬 ・不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別の啓発冊子作成 ・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施 ・ごみステーション違反ごみの回収 ・不法投棄対策(ハトロール、通報による出動等)の実施 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	ステーションごみ収集日数	日	目標値	257	258	259	256
		算出根拠等		実績(見込)	257	258	259	
	活動指標	不法投棄監視ハトロール日数	日	目標値	20	20	20	20
		算出根拠等		実績(見込)	30	31	20	
	成果指標	家庭系一般廃棄物収集量	t	目標値	18,268	18,237	18,010	17,779
		算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	18,491	18,148	18,010	
	活動指標	ごみの分け方・出し方の啓発	回	目標値	12	12	12	12
		算出根拠等		実績(見込)	10	9	12	
	成果指標	家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	g/人・日	目標値	467	466	468	472
		算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	470	469	468	
	成果指標	ごみ処理券回収枚数	枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000
算出根拠等			実績(見込)	345,053	343,545	333,759		
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者の収集時におけるハトロールの実施や不法投棄ハトロールによる不適正処理の未然防止策の実施。 ・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。 ・人口減少や少子高齢化など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者の収集時におけるハトロールの実施や不法投棄ハトロールによる不適正処理の未然防止策の実施。 ・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。 ・焼却炉の更新を見据え、ごみのエネルギー活用観点からも分別や収集を検討する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	286,019	294,173	302,620	300,942
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,106	3,211	3,328	3,309
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別の啓発 ・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬 ・ごみステーション違反ごみの回収 ・不法投棄対策(ハトロール、通報による出動等)の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理実施計画を作成し、適正に収集運搬を実施 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の啓発強化 ・家庭からの可燃ごみの減量対策 ・さらなる不適正処理対策(ハトロールの実施や関係部署との連携強化) ・収集エリア、収集量、収集コスト等の検証による委託業務の見直しの検討
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	302,620	300,942	△ 1,678	302,620	302,620	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	19,190	20,170	980	20,190	20,190		
	一般財源	283,430	280,772	△ 2,658	282,430	282,430		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	課			款	4	衛生費		分野	2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	生活環境	H28実施計画額	190,000 千円		
	2960			目	2	塵芥処理費		施策	5		ごみの適正処理		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・安全で適正なごみ焼却処理の実施	概要	事業の実施手法(手段)	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの焼却処理及び維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター) 設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を実施 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)	日	目標値	331	335	335	335
		実績(見込)	336	341	340			
	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	102	102	101	
	活動指標	ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)	日	目標値	80	80	80	80
		実績(見込)	85	93	95			
	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	106	116	119	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/m ³	目標値	1以下	1以下	1以下	1以下
		実績(見込)	0.0054	0.06	0.11			
	算出根拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m ³	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下
		実績(見込)	0.04	0.44	0.16			
算出根拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100		
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・老朽化した焼却施設の能力及び安全な稼働を維持する必要がある。
-----------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・老朽化した焼却施設の安全な運転と維持管理を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	焼却炉の更新を見据え、現施設の性能維持のため適切な維持管理を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	284,761	261,190	192,629	262,009
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,092	2,851	2,118	2,881
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・直営によるごみ焼却施設の維持管理 ・設備の点検及びダイオキシン類などの調査 ・ごみ焼却施設の保守点検	要求のポイント	・長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理	事業実施の課題	・コスト削減に向けての取り組み(施設の統廃合の検討) ・設備更新による効果の検証と維持計画の見直しによる施設の適正な維持管理
------	---	---------	----------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	192,629	262,009	69,380	217,636	217,636	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	86,320	91,353	5,033	86,320	86,320		
	一般財源	106,309	170,656	64,347	131,316	131,316		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	内線	2960	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	款					4	衛生費	分野		2	環境・景観	実施計画事業		ごみ埋立処理事業	
担当課	環境政策部 生活環境課				2960	項	2	清掃費	基本施策	2	生活環境	H28実施計画額	47,000 千円		
	目	2	塵芥処理費	施策		5	ごみの適正処理								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止による安全な埋立て処理	概要	事業の実施手法(手段)	・廃棄物の埋立処理事業を実施する。 ・汚水処理施設の維持管理を実施する。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施 設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を実施 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	埋立作業日数	日	目標値	309	309	310	311
		実績(見込)	309	309	310			
	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	100	
		ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理水)	pg/ℓ	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下
	成果指標	実績(見込)	0.0057	0.0130	0.0067			
		算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第2次埋立地処理水)	pg/ℓ	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下
		実績(見込)	0.0047	0.0049	0.0730			
	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100	
		ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立処分地処理水)	pg/ℓ	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下
	成果指標	実績(見込)	0.0000	0.0004	0.00035			
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
		算出根拠等	達成率(%)					
		目標値						
		実績(見込)						
		算出根拠等	達成率(%)					
ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	埋立処分地浸出水の適正な処理と、埋立処分地の延命化が必要。
-----------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理の実施。 事業者に対する埋立てごみの搬入制限や破砕機による埋立量の減容化等による埋立処分地の延命化の実施。 埋立が完了した第一次埋立処分地の有効活用を検討する。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 38,042	42,794	56,340	74,979
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 413	467	620	825
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の維持管理 設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査 埋立処分地残容量の測定 悪臭等の環境測定 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 埋立関連施設の適正な維持管理 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地の延命化対策(埋立廃棄物の破砕による減容等)
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	56,340	74,979	18,639	58,090	58,090	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	26,012	24,504	△ 1,508	26,012	26,012		
	一般財源	30,328	50,475	20,147	32,078	32,078		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	42240	資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	課			款	4	衛生費		分野	2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線 2960	項	2	清掃費	基本施策	2	生活環境	H28実施計画額	167,000 千円		
	目	2		塵芥処理費	施策	4		循環型社会の構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。 ・排出された粗大ごみ等を再利用しごみの減量化を図る。 ・資源の循環により循環型社会の形成を図る。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化装置設置補助 ・粗大ごみ等のリフォーム、リフォーム製品フェアの開催 ・ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発及び資源化できるごみの集団回収の奨励 ・資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正稼働
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化装置設置補助金の交付、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発 ・リフォーム製品フェアの開催(支所開催含む) ・小型家電の収集及び処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)での受入開始 ・資源回収事業での奨励金交付 85団体 ・収集したごみの選別・圧縮・減容による資源化、拠点集積所管理 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
成果指標	生ごみ堆肥化装置設置補助件数	件	目標値	74	74	74	57
	算出根拠等		実績(見込)	12	22	10	
活動指標	リフォームフェア開催回数	回	目標値	20	20	20	20
	算出根拠等		実績(見込)	19	20	20	
成果指標	集団資源回収での回収量	t	目標値	2,639	2,635	2,005	1,972
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	2,102	1,962	1,746	
成果指標	拠点集積所での回収量	t	目標値	2,468	2,463	2,597	2,531
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	2,721	2,670	2,597	
成果指標	資源ごみ資源化量	t	目標値	3,729	3,719	3,165	3,159
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	3,239	3,341	3,165	
成果指標	資源ごみ資源化率(家庭系ごみ)	%	目標値	28	28	30	30
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	30	27	30	
補足	拠点集積所での回収量は、民間施設回収分を含む。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化装置設置補助件数が減少しているため、装置の効果を啓発することが必要である。 ・排出されたごみからのリフォームは種類、数量に限りがあるため、拡大する必要がある。 ・再利用可能なものをごみとせず、有効利用するよう啓発する必要がある。 ・家庭ごみの収集量などが減少していないため、減量に繋がる分け方・出し方に対する啓発が必要である。 ・集団資源回収量や資源化率が減少しているため、小型家電の分別収集を含め資源の再生利用の啓発を継続して実施する必要がある。 ・プラスチック製容器包装や紙製容器包装に発泡スチロールやトレイなどが分別されず混入していることがあるため、分別の啓発強化が必要。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報などによりごみの分け方・出し方や生ごみ堆肥化装置設置補助等の啓発を行う。 ・全支所地域でリフォーム製品フェアを開催し事業活動を広めるとともに、本庁などで事前に見本展示することにより再使用の啓発を強化する。 ・ボランティア団体の支援によりリフォーム製品を増やし利用者の拡大を図る。 ・小型家電の全品目の分別収集や資源の再生利用、有効利用のための分別の啓発を実施し適正な資源化を行う。 ・不燃ごみから鉄類など選別し資源化を徹底する。 ・資源の再生利用のため分別を啓発し適正な資源化を行う。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	160,669	153,552	167,588	185,817
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,745	1,676	1,843	2,043
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化装置設置に対する助成 ・粗大ごみ等の再利用によるごみの減量化 ・リフォーム製品フェアの開催 ・ごみの分別と資源化の啓発 ・資源回収事業に対する奨励 ・拠点集積所管理業務 ・廃棄物の選別回収、資源化処理業務 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化装置設置の促進 ・集団回収の奨励 ・日常生活から出される資源ごみの再資源化にかかる経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、集団資源回収団体への啓発 ・PL法(製造物責任法)を遵守した自転車リフォームの検討 ・ごみ処理施設の安全と、適正な管理運営
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	167,588	185,817	18,229	165,288	165,288	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	10	6	△4	10	10		
	その他	19,550	11,530	△8,020	12,900	12,900		
	一般財源	148,028	174,281	26,253	152,378	152,378		